



第3章 基本計画

基本構想を実現するための、8年間の具体的な
取り組み内容をまとめています

まちの将来像

住民幸福度 100%

～ 誰もが幸福を感じる

日本一誇れるまち ひじ

持続可能な成長都市

KGI
重要目標達成指標

①住民幸福度100%

②人口3万人

③町内総生産額1,000億円

政策

“経済的な豊かさ”の実現

“自然・社会的な豊かさ”の実現

“教育・文化的な豊かさ”の実現

“効率的な行政運営”の実現

めざす姿

活気に溢れた利便の良いまち

安心・安全で快適なまち

人を育み心豊かなまち

信頼される役場

KSF
重要成功要因

①雇用創出

②人口増加

③町民参画

④財政調整基金残高

施策

経済振興

社会基盤（環境）整備

教育文化

行政推進

KPI
重要業績評価指標

1 タウンプロモーションの推進
KPI▶関係人口

2 ふるさと納税の推進
KPI▶ふるさと寄附金額

3 産官学金等との連携
KPI▶産官学金等との連携協定締結件数

4 公共交通の充実
KPI▶町交通施策利用者数

5 移住・定住の促進
KPI▶移住者数

6 商工業の振興
KPI▶商工会会員数

7 企業の誘致
KPI▶企業誘致件数

8 起業の促進
KPI▶創業者数

9 観光の振興
KPI▶観光消費額

10 稼げる農業・漁業の推進
KPI▶平均所得（農業・漁業従事者）

11 コミュニティ機能の強化
KPI▶「直近1年以内に、地区の行事に参加した」と回答した町民の割合

12 地球に優しい環境づくり
KPI▶二酸化炭素排出量

13 誰もが住みやすい環境づくり
KPI▶町民1人あたりの家庭ごみ排出量

14 障がい者福祉の充実
KPI▶一般就労移行者および新規就労継続支援利用者数

15 高齢者福祉の充実
KPI▶75歳以上の高齢者のうち要介護認定を受けていない方の割合

16 子育て環境の充実
KPI▶0～15歳の住民数

17 健康づくりの推進
KPI▶健康寿命（お達者年齢）

18 道路・公園等インフラの整備
KPI▶道路改良率

19 防災・防犯の推進
KPI▶安心・安全なまちに対する町民満足度

20 上水道の整備
KPI▶上水道有収率

21 生活排水処理施設の整備
KPI▶生活排水処理率

22 人権意識の向上
KPI▶人権研修・イベント等の参加者数

23 教育環境の充実
KPI▶長寿命化実施学校数

24 学校教育の充実
KPI▶学校が楽しいと思う児童・生徒の割合

25 社会教育の充実
KPI▶主催教室・自主教室等の参加者数

26 文化財・歴史の継承
KPI▶歴史・文化財イベントへの参加者（来場者）数

27 スポーツの振興
KPI▶町内スポーツ大会・イベントの参加者数

28 図書館の充実
KPI▶図書館来館者数

29 職員満足度の向上
KPI▶職員の職場満足度

30 町有資産の活用
KPI▶未利用財産の利活用による歳入額

31 公共施設の長寿命化
KPI▶長寿命化実施率

32 DXの推進
KPI▶オンライン申請件数

33 収納率の向上
KPI▶町税の収納率

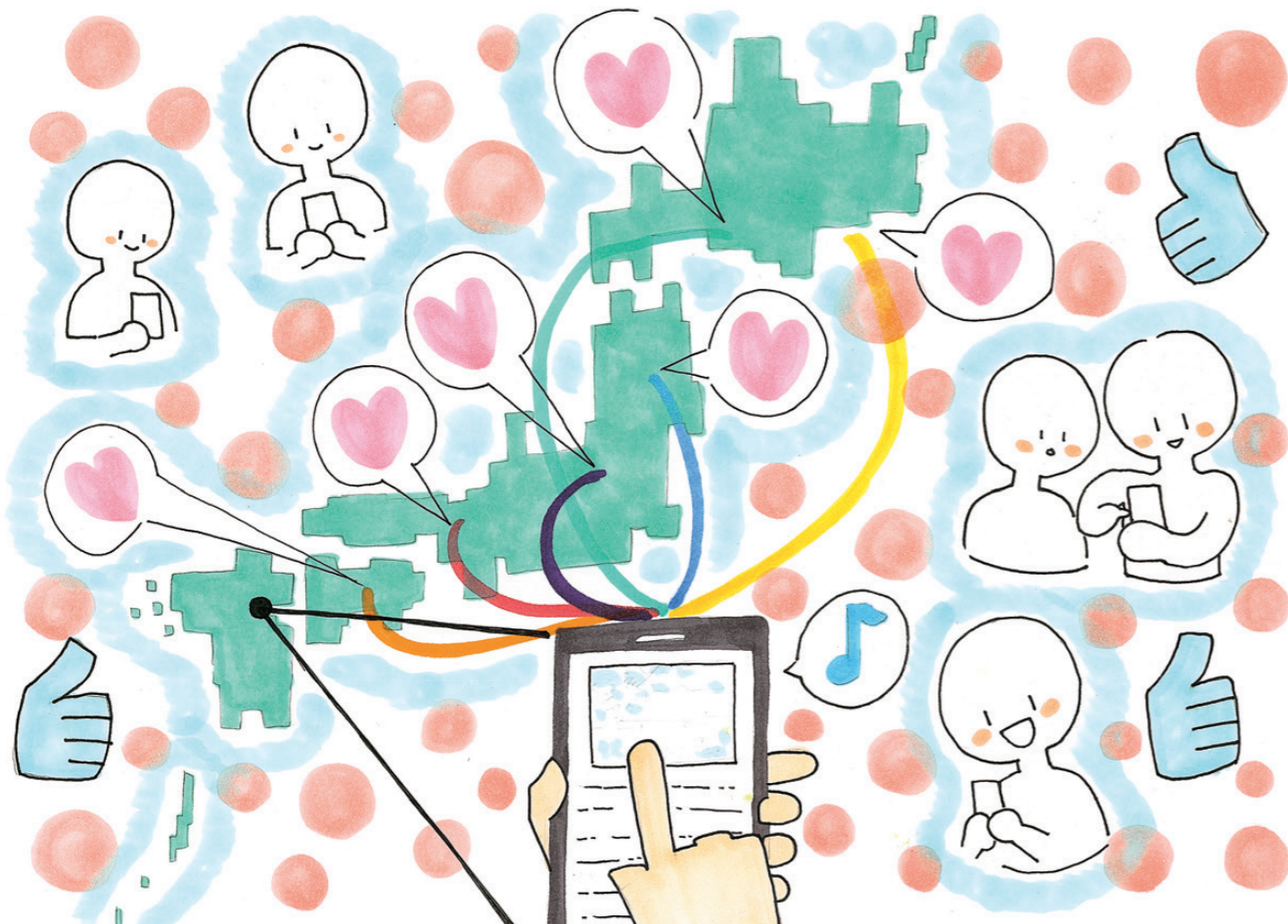
事務事業

各事務事業

各事務事業

各事務事業

各事務事業



いまの姿

- 株式会社サンリオエンターテイメントと「ハローキティとくらすまち ひじ」というキャッチフレーズのもと連携し、サンリオキャラクターを活用したタウンプロモーション事業を進めています。
- 本町は、地域資源等の魅力を十分に情報発信できていない状況が続いており、その結果として、町の全国的な知名度は依然として低い水準にとどまっています。

8年後の姿

全国に日出町の魅力が伝わり、日出町のファンが増えています。

≡ 成果目標 ≡

関係人口

35,232人 → 50,000人

■ 令和6年度

■ 令和15年度

8年間の取り組み

1 情報発信を強化します

行政の取り組み

- 観光・移住・産業の3分野で一貫性あるデザインやメッセージを使ったプロモーションを展開します。
- 日出町のプロモーション動画を制作し、SNSやYouTubeなどで積極的に発信します。
- 多様なステークホルダーや町民・事業者等と連携して情報発信を行い、認知度向上に取り組みます。

みんなで一緒に取り組みよう

- 日出町の公式SNSをフォローし、積極的に拡散しましょう。
- 日出町のことをSNSで投稿するときは「#日出町」など関連するハッシュタグをつけましょう。

2 町民や事業者と連携してプロモーションに取り組みます

行政の取り組み

- 町民や事業者と協力し、日出町の様々な地域資源をブラッシュアップし、ブランド化を目指します。
- 町の魅力を整理し、マーケティング戦略に沿った効果的なプロモーションに取り組みます。
- 事業者と協力し、「ハローキティとくらすまち」づくりに引き続き取り組みます。

みんなで一緒に取り組みよう

- 町のイベントやキャンペーンに積極的に参加しましょう。
- 移住希望者に「町の案内人」として親切に接し、町の魅力を伝えましょう。



■関連計画 日出町SDGs未来都市計画

■用語解説 ステークホルダー…組織が活動を行うことで影響を受ける利害関係者のこと。





いまの姿

- 平成26年度（初年度）のふるさと寄附金は713万円でしたが、令和元年度には3億円を、翌年度には7億円を突破しました。令和4年度からは毎年度8億円を超えているものの、9億円には到達していない状況です。
- 令和6年度に日出町ふるさと納税連絡協議会を立ち上げ、返礼品提供事業者等と協働して、ふるさと納税の促進に取り組んでいます。
- 日出町のふるさと納税の主な返礼品は、おおいた和牛、大分むぎ焼酎、卵、ヘッドホン、かぼす製品、トマト、巨峰などです。

8年後の姿

日出町のファンが増えており、多くのファンの応援、支援により、まちが活性化しています。

≡ 成果目標 ≡

ふるさと寄附金額

8.75 億円 → 17.50 億円

■ 令和6年度

■ 令和15年度

8年間の取り組み

1 魅力ある返礼品を揃えます

行政の取り組み

- 商工会等関係団体と連携し、返礼品の発掘、開発に取り組みます。
- 返礼品提供事業者を繋ぎ、コラボ商品の開発等、既存返礼品のブラッシュアップに取り組みます。
- 町外事業者も含め、新規返礼品提供事業者の発掘に取り組みます。

みんなで一緒に取り組もう

- 返礼品のアイデアや返礼品提供事業者の情報等があれば、積極的に役場に相談しましょう。
- 日出町ふるさと納税連絡協議会で、コラボ商品も含め新規返礼品の開発等について、活発に話し合いましょう。

2 ふるさと納税の更なるPRに取り組みます

行政の取り組み

- ふるさと納税ポータルサイトに掲載する画像や文章をブラッシュアップし、より返礼品の魅力が伝わる情報発信に取り組みます。
- 首都圏のみならず、様々なイベントに積極的に参加し、日出町の返礼品をPRします。
- SNSや新聞、広告等、様々な媒体を通じて、日出町へのふるさと納税をPRします。

みんなで一緒に取り組もう

- 町外の親戚や友人、また、自社の社員や取引先の企業等に対して、積極的に日出町へのふるさと寄附をPRしましょう。
- 日出町の返礼品やふるさと寄附金が日出町で何に使われているか知っておきましょう。

3 リピーター（日出町のファン）の増加に取り組みます

行政の取り組み

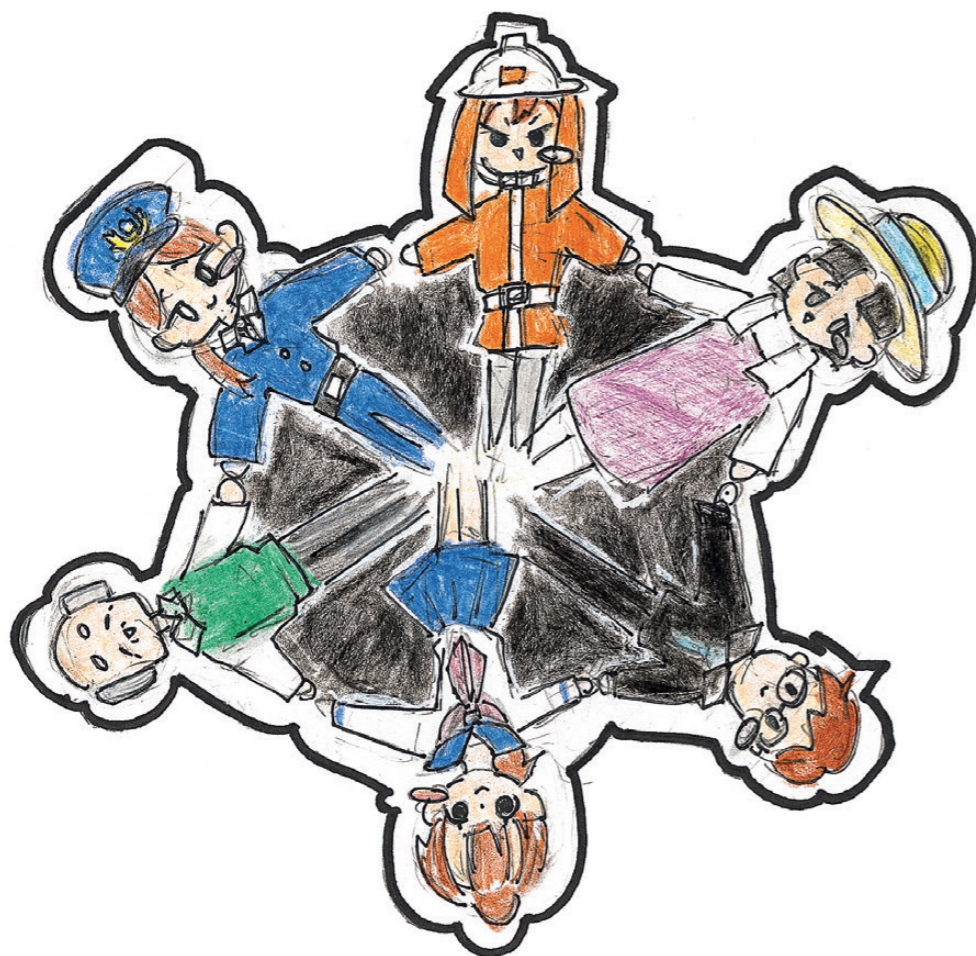
- ふるさと寄附者に、日出町のファンになってもらえるよう、丁寧なお礼状やお礼メールを定期的に送ります。
- ふるさと寄附者からの問合せに対して、ひとつひとつ丁寧に対応します。

みんなで一緒に取り組もう

- 町外の親戚や友人、また、自社の社員や取引先の企業等に対して、積極的に日出町の返礼品の魅力を伝えましょう。
- 返礼品提供事業者は、ふるさと寄附者に返礼品を送る際には、丁寧な梱包を心掛け、オリジナルのお礼状等を同梱しましょう。

■関連計画

■用語解説



いまの姿

- 地域活性化や防災、カーボンニュートラルなど様々な施策・分野において、企業や大学、金融機関などと個別連携協定や包括連携協定の締結を進めています。
- おおいた地域連携プラットフォームをはじめ、大学等と連携し、町内の地域課題の解決に向けた取り組みを進めています。

8年後の姿

産官学金等の連携により、多様なステークホルダーがまちづくりに参画し、地域課題の解決が進んでいます。

≡ 成果目標 ≡

産官学金等との連携協定締結件数

14件 → 累計 50件
 ■ 令和6年度 ■ 令和15年度

8年間の取り組み

1 企業や大学等との連携を推進します

行政の取り組み

- 様々な企業との包括連携協定締結を推進し、相互にメリットをもたらす仕組みを構築します。
- 大学や企業と連携し、地域課題の解決を目的とした共同研究に取り組みます。

みんなで一緒に取り組もう

- まちの課題を地域の人々で話し合いましょう。

2 多様な人材と地域課題の解決を図ります

行政の取り組み

- 若者世代や地域住民のほか、ステークホルダーとの連携により、地域課題の解決に取り組みます。
- 持続可能なまちづくりを推進するため、SDGsに取り組む団体が相互に連携を取れる体制を整えます。

みんなで一緒に取り組もう

- 町内外の様々な人材に、積極的に地域課題を相談しましょう。

3 地域の将来を担う人材を育成します

行政の取り組み

- 高校・大学と連携して、インターンシップ制度を活用し、人材育成と地域振興を推進します。
- 企業や教育委員会と連携し、中学生が職場体験できる場所の充実に取り組みます。

みんなで一緒に取り組もう

- 高校生や大学生のインターンシップや地域活動を温かく受け入れましょう。

- 関連計画 日出町SDGs未来都市計画
- 用語解説 ステークホルダー…組織が活動を行うことで影響を受ける利害関係者のこと。



いまの姿

- 令和5年10月からデマンド型公共交通とコミュニティバスの複合型公共交通体系を構築し、町内の交通不便地域の解消に取り組んでいます。
- 路線バスやタクシーは、利用者減少や運転手不足の影響で厳しい状況にあります。特に路線バスは縮小が続き、町外への移動手段が限られている状況です。
- 高齢化による交通弱者が今後増える見込みのため、町内の公共交通をネットワークとして最適化し、持続可能な仕組みづくりを進めていく必要があります。
- 町内にはJRの駅が4か所あることから、町外への移動は比較的しやすい状態になっています。

8年後の姿

町内のどこに住んでも移動に困ることがなく、誰もが安心して暮らしています。

≡ 成果目標 ≡

町交通施策利用者数

11,839人 → 30,000人
 ■ 令和6年度 ■ 令和15年度

8年間の取り組み

1 交通ネットワークの再整備に取り組みます

行政の取り組み

- 現在の交通利用者数や利用場所などを分析し、日出町にあった適切な運行ルート・方法を調査します。
- 高齢者・交通弱者支援につながる交通施策を推進します。

みんなで一緒に取り組もう

- 公共交通を積極的に利用して、持続的な運行につなげましょう。
- 交通サービスの改善のため、利用状況や意見などのアンケートに回答しましょう。

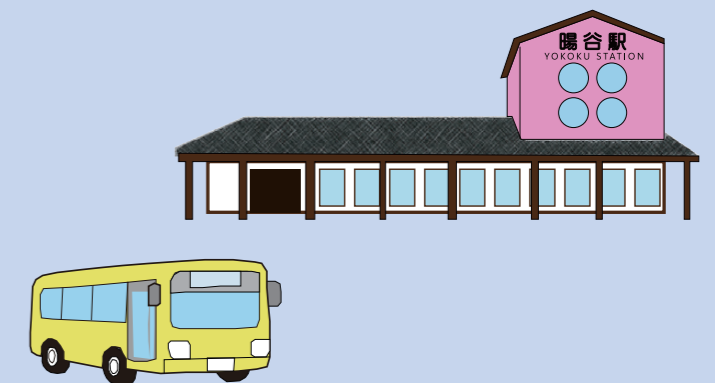
2 広域交通網の利用促進を図ります

行政の取り組み

- 幹線バスやJR駅と接続するフィーダー交通を整備し、通勤・通学・通院に便利な乗継環境を整えます。
- 近隣自治体との広域公共交通ネットワークの構築を進めます。

みんなで一緒に取り組もう

- 通勤・通学・買物などでは、家族や友人と一緒にバスや鉄道を利用しましょう。



- 関連計画 日出町地域公共交通計画
- 用語解説 デマンド交通 … 予約に応じて運行する時刻や経路が変わる交通形態
 フィーダー交通 … 駅や幹線バス停など主要路線に人を運ぶ乗り継ぎのための補助交通





いまの姿

- オンラインでの移住相談をはじめ、空き家の利活用やお試し体験住宅のお試し居住、さらには、移住応援給付金を新設し、移住の促進に取り組んでいます。
- 日出町の人口は若干の社会増ではあるものの、自然減が大きく、減少傾向にあります。人口増加に向け、移住支援体制を整備するとともに、本町の知名度向上に向けた情報発信を強化し、移住者数を増やしていくことが重要です。

8年後の姿

日出町が住みよいまちと認知され、
様々な世代の移住・定住者が増え、人口が増えています。

≡ 成果目標 ≡

移住者数

65人 → 100人
 ■ 令和6年度 ■ 令和15年度

8年間の取り組み

1 移住しやすい環境を整備します

行政の取り組み

- 移住支援金や就業支援、二地域居住の推進など、移住しやすくなる支援策の充実に取り組みます。
- 移住者との交流会などが開催できるよう交流体制の整備に取り組みます。
- 空き家調査の強化を図り、より多くの空き家を登録し、移住者に情報提供していきます。

みんなで一緒に取り組みよう

- 空き家や土地の情報を役場に提供しましょう。
- 新しく移住してきた人に声をかけ、地域行事や活動に誘いましょう。

2 移住・定住に向けたPRを積極的に発信します

行政の取り組み

- 日出町の魅力や日出町での暮らしのイメージがしやすいように、移住定住者向けのサイトを制作し、町外に情報発信します。
- 移住に興味のある方々に響くような動画を制作し、SNS等を通じて積極的に情報発信します。

みんなで一緒に取り組みよう

- 町外に住む友人・知人に日出町の魅力を紹介し、移住や交流のきっかけを広げましょう。



- 関連計画
- 用語解説



いまの姿

- 商工業の担い手不足や物価高騰による経営圧迫が課題となっており、商工会の会員数は541名と減少傾向にあります。
- 多くの事業者で人材の確保が難しく、経営の継続や成長に影響が出ています。さらに、経営者の高齢化が進む中で、事業承継の準備は十分に進んでおらず、計画的に対応しなければ将来的に地域経済に大きな影響を与えることが懸念されています。

8年後の姿

事業者の事業承継が進む中で、地域の商工業も持続的に成長し、地域経済を支えています。

≡ 成果目標 ≡

商工会会員数

541人 → 560人
 ■ 令和6年度 ■ 令和15年度

8年間の取り組み

1 地元企業を支える体制を整備します

行政の取り組み

- 企業訪問を通じて、事業者の声や課題を把握します。
- 支援制度や補助金などをわかりやすく案内し、利用促進に取り組みます。
- 事業者に寄り添い、課題解決に向けた伴走型の支援体制を強化します。

みんなで一緒に取り組もう

- 地域の中小企業が提供する商品やサービスを利用し、応援しましょう。
- 町内の事業者の活動に関心を持ち、地域の産業を知るきっかけにしましょう。

2 事業承継をサポートします

行政の取り組み

- 事業承継の重要性を伝える広報に取り組み、早期からの準備を促します。
- 商工会や関係機関と連携し、相談窓口を設置します。
- 承継に伴う税制や支援制度をわかりやすく周知し、円滑な引き継ぎを支援します。

みんなで一緒に取り組もう

- 家業や地域の事業について、将来の担い手について考えておきましょう。
- 承継を身近なこととして捉え、準備や相談は早めに進めましょう。

3 働く場と働く人をつなぎます

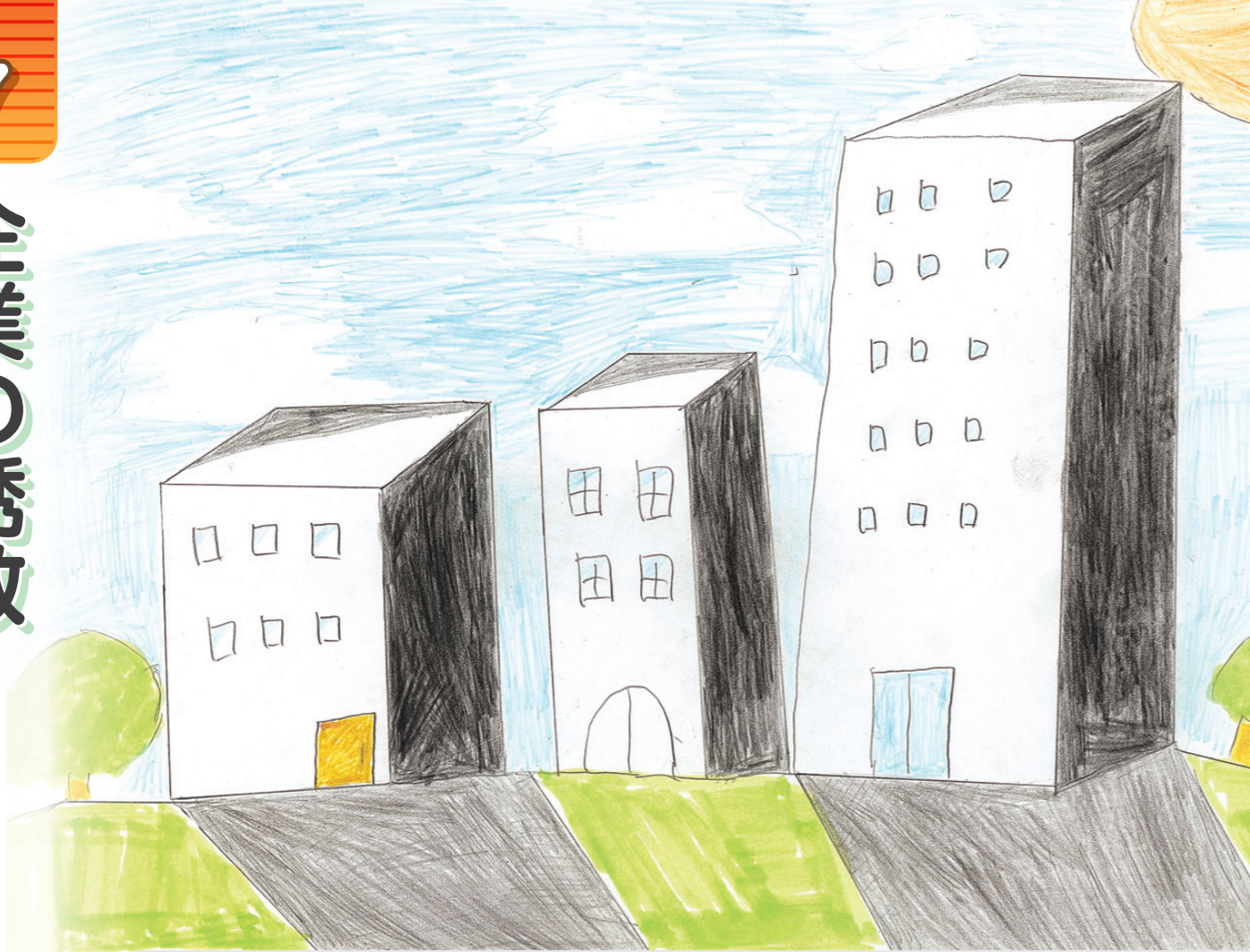
行政の取り組み

- 就職フェアやマッチングイベントを開催し、企業と人材の出会いを支援します。
- 若者や女性、高齢者など多様な人材が働きやすい環境づくりを進めます。
- 近隣市町や関係機関と連携し、人材確保に向けた広域的な取組を展開します。

みんなで一緒に取り組もう

- 地域での就職や転職に関心を持ち、就職フェアなどに積極的に参加しましょう。
- 地元企業のインターンシップに参加しましょう。

■ 関連計画 日出町産業振興促進計画
 ■ 用語解説



いまの姿

- 川崎工業団地は分譲に向けて造成が進んでおり、町外企業の立地はこれから本格的に動き出す段階にあります。
- 一方、町内企業では、新しい社屋の建設や設備投資など、前向きな動きが少しずつ広がっています。
- 大分市や大分空港、高速道路へのアクセスに恵まれており、この強みを活かした展開が今後ますます期待されています。

8年後の姿

企業立地が進み、投資の拡大や新たな雇用により、
地域に活気が溢れています。

≡ 成果目標 ≡

企業誘致件数

0件 → 累計13件
 ■令和6年度 ■令和15年度

8年間の取り組み

1 企業訪問を強化します

行政の取り組み

- アンケートなどの活用により、効率的な企業訪問に取り組みます。
- 町外だけでなく、町内企業にも積極的に訪問します。
- 関係機関や町内企業から積極的に情報収集し、企業訪問に活用します。

みんなで一緒に取り組もう

- 新しく立地する企業や従業員を地域に迎入れるため、日常のつながりを大切にしましょう。

2 立地環境の魅力を発信します

行政の取り組み

- ホームページやパンフレット、SNSを活用し、企業への情報発信を強化します。
- 交通インフラへのアクセスの良さをはじめ、日出町の立地条件をわかりやすく発信します。
- 企業活動や成功事例を紹介し、安心して立地できるイメージを広げます。

みんなで一緒に取り組もう

- まちの魅力を町外の事業者に紹介し、地域の良さを広めましょう。

3 企業が進出しやすいよう支援します

行政の取り組み

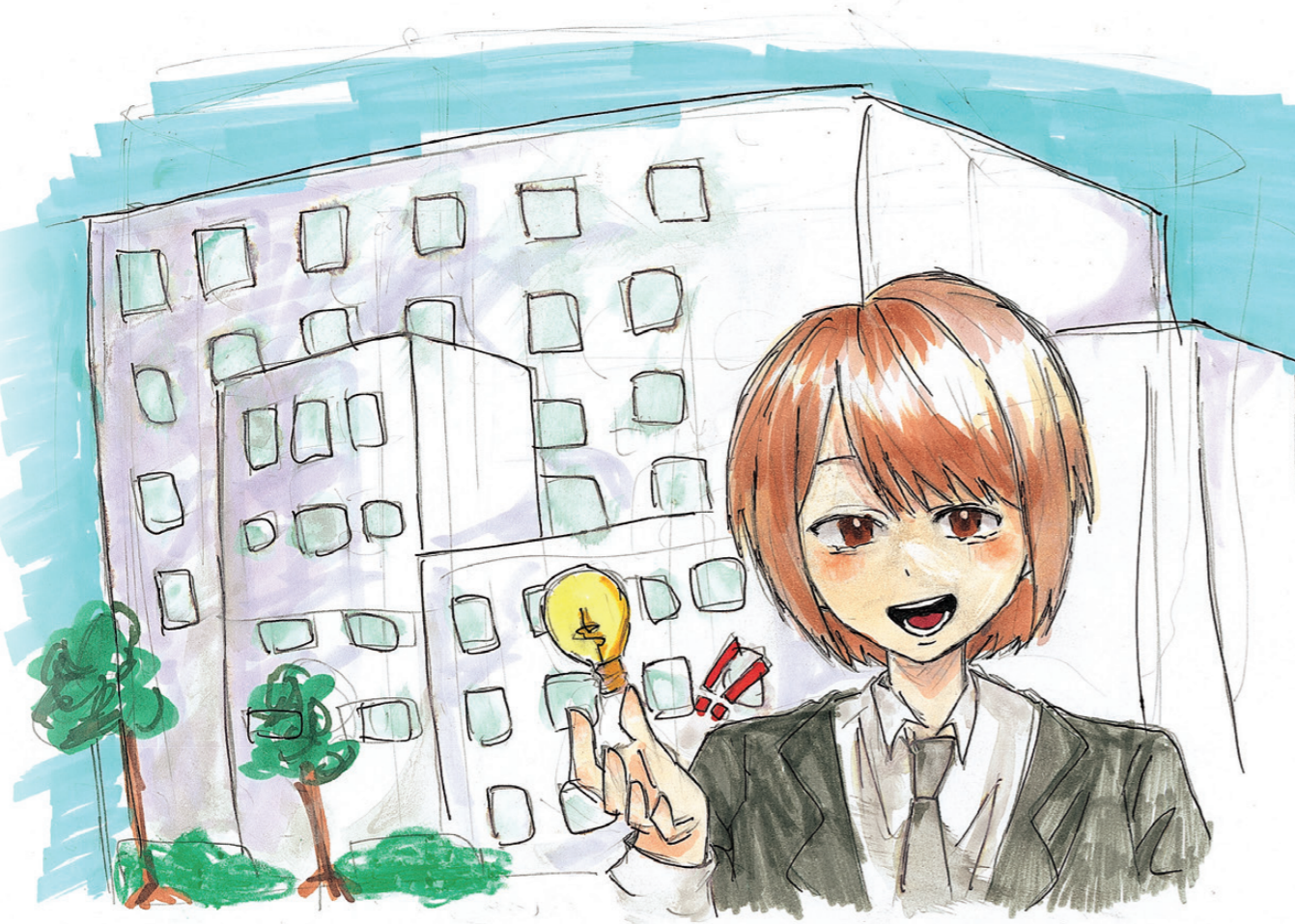
- 工業団地の分譲を円滑に進め、立地希望企業に分かりやすく案内します。
- 企業が利用しやすい税制や補助金などの制度を整備・周知します。
- 関係機関と連携し、進出企業が抱える課題に対応できる支援体制をつくります。

みんなで一緒に取り組もう

- 企業進出などにより引っ越してくる方々を温かく迎えます。

- 関連計画 日出町産業振興促進計画
- 用語解説





いまの姿

- 令和6年度の創業者数は3名と少なく、新しい事業に挑戦する人の数が限られています。事業を始めたいという気持ちはあっても、資金調達や相談先の不足、事業を続けていけるかどうかへの不安から、実際の創業にはつながりにくい状況です。
- 創業セミナーの参加者も10名程度にとどまっており、参加のきっかけづくりや情報発信がまだ十分とはいえません。そのため、地域全体で起業を応援する雰囲気や、互いに学び合い挑戦を後押しする機会が、広く根付いているとは言いがたい状況です。

8年後の姿

まちに新しい店舗や事業所が増え、新たな産業や特産品が生まれ、まちが賑わっています。

≡ 成果目標 ≡

創業者数

3人 → 累計64人
 ■ 令和6年度 ■ 令和15年度

8年間の取り組み

1 起業を支援します

行政の取り組み

- 起業に関する相談体制を強化し、専門家による相談や伴走支援を行います。
- 創業者向けの補助金や融資制度を整備し、資金面の不安を軽減します。
- 地元金融機関や商工団体と連携し、創業者の資金調達や販路開拓を支援します。

みんなで一緒に取り組もう

- 起業者の新しいサービスや商品を積極的に利用し、応援しましょう。

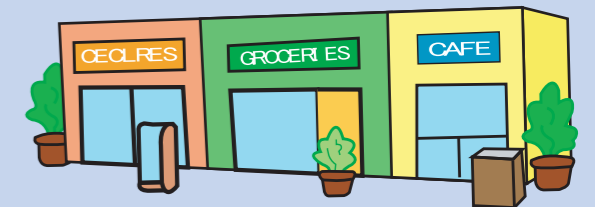
2 起業家の育成に取り組みます

行政の取り組み

- 創業セミナーを定期的で開催し、知識や技能を習得する機会を提供します。
- オンラインを活用した学習機会を整備し、誰もが学びやすい環境をつくります。
- 創業者を紹介する広報活動を行い、起業に前向きな雰囲気をつくります。

みんなで一緒に取り組もう

- 勉強会などに参加して、地域の起業家とつながりを持ちましょう。
- 先輩の起業家・事業者は、後輩の起業家を応援しましょう。



- 関連計画 日出町創業支援等事業計画
- 用語解説





いまの姿

- 全国的にも知名度の高い別府、湯布院から近く、大分空港にもアクセスのよい好立地を生かした周遊プランの造成に取り組んでいます。
- 日出城址周辺、大神海岸線、鹿鳴越連山などは特色ある地域資源でありながら観光資源として着目されることが少なく、高い集客力を持つハーモニーランドに観光客が集中している状態になっています。

8年後の姿

日出町ならではの観光資源が最大限に活かされ、効果的な情報発信により国内外から多くの観光客が訪れています。

≡ 成果目標 ≡

観光消費額

82 億円 → 87 億円
 ■ 令和6年度 ■ 令和15年度

8年間の取り組み

1 観光資源のブラッシュアップと新たな魅力づくりに取り組みます

行政の取り組み

- まちの豊かな自然環境、歴史・文化資源、食の魅力を活かし、滞在型観光へとつながる体験型コンテンツを創出します。
- 町内の事業者や高校・大学等と連携し、特産品の開発に取り組みます。

みんなで一緒に取り組もう

- まちの魅力や特色を知り、誇りと愛着を持ちましょう。
- 地域のイベントに積極的に参加しましょう。

2 効果的に情報を発信します

行政の取り組み

- デジタル技術やSNSを活用した戦略的な情報発信を強化します。
- 国内外に向けたプロモーションを実施し、認知度向上に取り組めます。
- 多言語に対応した観光パンフレットやホームページ、案内看板等の充実を図ります。

みんなで一緒に取り組もう

- SNSや口コミを通じてまちの魅力を発信しましょう。

3 持続可能な観光と交流の拠点づくりに取り組みます

行政の取り組み

- 多様化する旅行ニーズに対応するため、二次交通の充実やバリアフリー対応など受け入れ環境を整備します。
- ひじ町ツーリズム協会と町との役割分担を明確化した上で、ひじ町ツーリズム協会が一元的に施策実施できるよう支援します。
- 観光拠点としての二の丸館の来館者数の増加に取り組めます。

みんなで一緒に取り組もう

- 観光客に「町の案内人」として親切に接し、まちの魅力を伝えましょう。

- 関連計画
- 用語解説



いまの姿

- 平成15年には900名を超えていた農業従事者数が、現在では半分以下の450名を割り、また、平成15年に1128haであった経営耕地面積も、現在840haと減少するなど、高齢化に伴い、担い手不足や遊休農地の増加が深刻化しています。
- 水産業について、平成15年には121名いた漁協の正組合員が、現在は半分以下の54名まで減少しています。また、担い手不足や温暖化などの海洋環境の変化もあり、漁獲量も減少しています。

8年後の姿

農産物の高収益化の推進や、農業に関する情報発信により、農業の担い手が増えていきます。また、アマモ場の保全活動と種苗放流により、水産資源が増えていきます。

≡ 成果目標 ≡

平均所得（農業・漁業従事者）

農業 340万円 → 420万円
 ■令和6年度 ■令和15年度

漁業 74万円 → 83万円
 ■令和6年度 ■令和15年度

8年間の取り組み

1 農産物の高収益化、経営規模の拡大等により農業所得の向上を図ります

行政の取り組み

- 農産物の高収益化や6次産業化の推進により、所得増大に取り組みます。
- 大規模圃場整備等の推進により生産基盤の整備と産地づくりに取り組みます。
- 農地の集積・集約化、他業種との連携により担い手の確保、人手不足の解消や遊休農地発生抑制に取り組みます。
- 猟友会等と連携し、有害鳥獣による被害防止に取り組みます。
- ふるさと納税返礼品の発掘と集客イベントへ積極的に参加して、農産物等のPRIに取り組みます。

みんなで一緒に取り組もう

- 地産地消や食育のイベントに参加しましょう。
- 農産物に関する体験やイベント等をSNSで発信しましょう。
- 農産物やその生産現場に目を向けましょう。
- 地元の農産物をたくさん食べましょう。

2 水産資源の増大により、漁業所得の向上を図ります

行政の取り組み

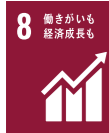
- 海業の推進により、所得増大に取り組みます。
- 水産資源の増大のため、マコガレイなどの種苗放流を行います。
- 魚食文化の普及のため、集客イベントへの参加や魚の捌き方教室などを開催します。
- 漁場環境の整備のため、アマモ場の増大と増殖礁の整備、海底耕耘を実施します。
- ふるさと納税返礼品の発掘と集客イベントへ積極的に参加して、海産物等のPRIに取り組みます。

みんなで一緒に取り組もう

- 城下かれい祭りなどのイベントで種苗放流を体験しましょう。
- 魚の捌き方教室に参加しましょう。
- 地元で取れた魚をたくさん食べましょう。

■関連計画 浜の活力再生プラン

■用語解説 6次産業化 … 1次産業としての農林漁業と、2次産業としての製造業、3次産業としての小売業等の事業との総合的かつ一体的な推進を図り、地域資源を活用した新たな付加価値を生み出す取組
 大規模圃場整備 … 農地の区画を整形して大型化し、用水路・排水路・農道などを一体的に整備すること
 農地の集積 … 農地を所有し又は借入れることなどにより、利用する農地面積を拡大すること
 農地の集約化 … 分散した農地をまとめ、効率的な農作業ができるようにすること
 海業 … 海や漁村の地域資源の価値や魅力を活用して、地域のにぎわいや所得、雇用を生み出す事業
 アマモ場 … 稚魚の育成場や産卵場所となるアマモが群生している場所





いまの姿

- 本町には75の自治区（自治会）があり、地域コミュニティを維持していますが、自治区に加入しない住民が年々増えています。また、ライフスタイルの多様化を受け、地域活動への参加者が減少する傾向が見受けられます。
- 自治区の代表（区長）や役員の高齢化に加え、区長・役員のみ手が見つかからないことも深刻な問題となっています。これらにより、地域活動を継続できなくなる自治区が今後多く発生することが予想され、地域における人間関係の希薄化が一層進むことが懸念されます。

8年後の姿

まちづくりや住民活動の基本である地域コミュニティ(自治区)を中心に、地域活動が活発に行われています。

≡ 成果目標 ≡

「直近1年以内に、地区の行事に参加した」と回答した町民の割合

60.0%

■令和15年度

8年間の取り組み

1 地域コミュニティの活性化に取り組みます

行政の取り組み

- 地域コミュニティを活性化するため、自治区と区長により組織される区長会の活動を支援します。
- 地域コミュニティの拠点となる、各地区公民館の設備の更新や施設改修による長寿命化を計画的に進めます。
- 自治区への加入を促進するため、SNS等を活用した広報・啓発に取り組みます。

みんなで一緒に取り組もう

- 自治区に加入し、住みよい地域づくりに取り組みましょう。
- 地域の行事・活動に積極的に参加し、地域社会を盛り上げましょう。

2 協働のまちづくりを推進します

行政の取り組み

- 特定の活動や目的を基軸として集まった地域活動グループに対し、その活動を支援します。
- 住民、自治区、各種団体、民間企業等と協働し、地域課題の解決に自主的に取り組む団体等を支援する仕組みづくりを進めます。

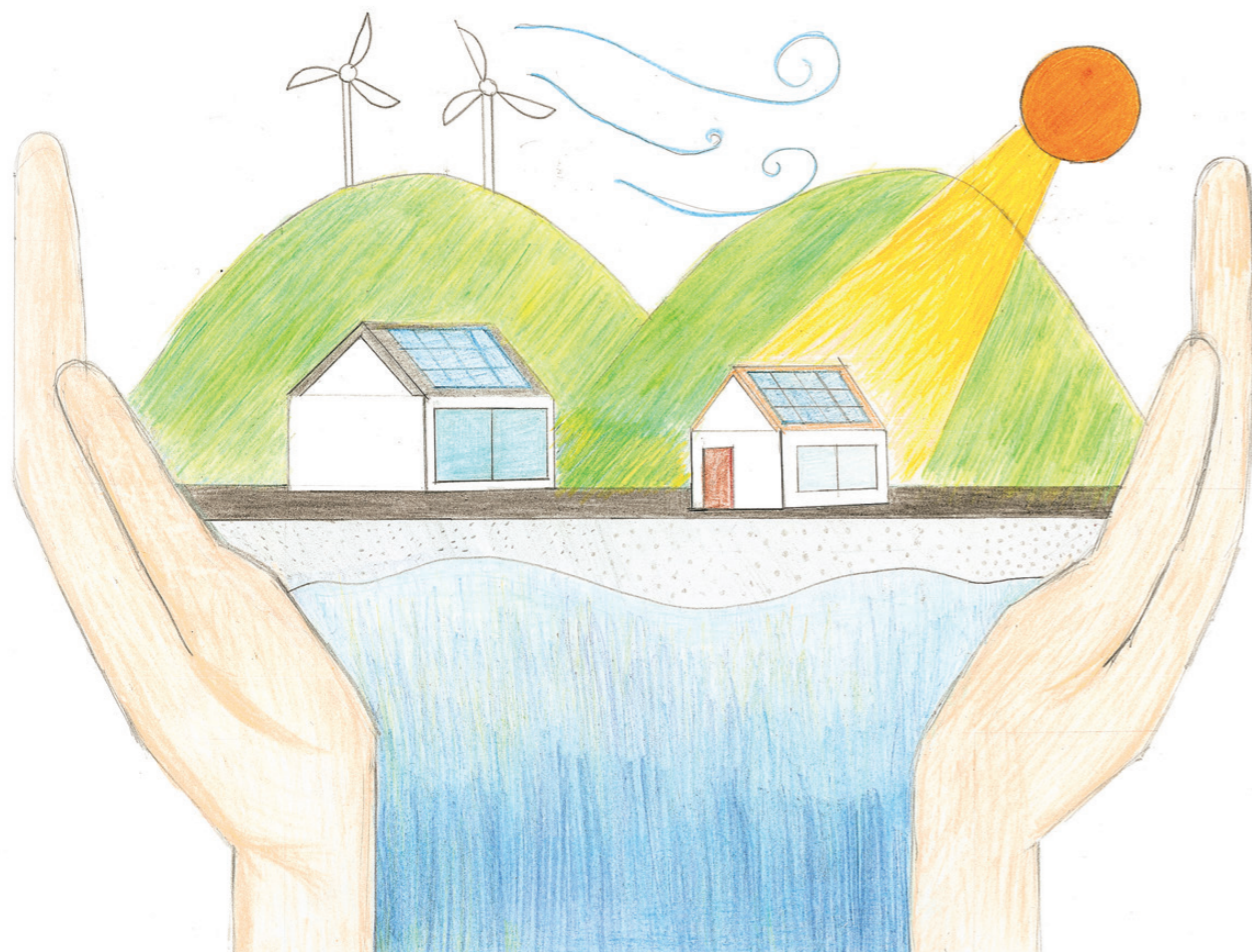
みんなで一緒に取り組もう

- 地域課題について、地域の皆で話し合い、一緒に解決に取り組みましょう。



- 関連計画
- 用語解説





いまの姿

- 日出町の再生可能エネルギーの導入容量は、近年大きく伸びていますが、森林を伐採したメガソーラー発電設備の開発によるところが大きくなっています。一方で、住宅地や工場用地等において小中規模な太陽光発電設備の設置可能なエリアも多数存在しています。
- 温暖な気候と青い海、緑の山、きれいな湧水など豊かな自然をこどもたちに繋ぎ、未来も安心して豊かに暮らせる脱炭素社会を実現するために、令和6年12月に『日出町地球温暖化対策実行計画（区域施策編）』を策定し、2050年までに町域の温室効果ガス（二酸化炭素）排出量の実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ」へ挑戦することを宣言しました。

8年後の姿

再生可能エネルギー施設とまちの豊かな自然との調和がとれた環境の中で、町民の環境問題に対する意識が高まっています。

≡ 成果目標 ≡

二酸化炭素排出量



8年間の取り組み

1 再生可能エネルギーの利用を促進します

行政の取り組み

- 再生可能エネルギー設備の導入に当たっては、生活環境、景観その他自然環境に十分配慮し、地域住民の理解を得た上で、実施するよう指導します。
- 家庭や事業所向け太陽光発電設備等について、自家消費を促進します。

みんなで一緒に取り組もう

- 住宅の新築の際などには、自家消費型の太陽光発電設備や蓄電池の導入を検討しましょう。
- 電気契約は、再生可能エネルギー由来のものを選択しましょう。

2 省エネルギー対策を推進します

行政の取り組み

- 公共施設への自家消費型太陽光発電設備等の設置に取り組みます。
- 公共施設の設備更新の際は、省エネルギー効果の高い設備へと更新します。
- 町民や事業者の省エネ対策を促進するため、SNSの活用等による効果的な情報発信に取り組みます。

みんなで一緒に取り組もう

- 脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動『デコ活〜くらしの中のエコがけ〜』に取り組みましょう。



- 関連計画 日出町地球温暖化対策実行計画（区域施策編）、日出町SDGs未来都市計画
- 用語解説 デコ活…二酸化炭素を減らす脱炭素（Decarbonization）と、環境に良いエコ（ECO）を含む「デコ」と活動・生活を組み合わせた新しい言葉で、脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動のこと。まずは、【で】電気も省エネ断熱住宅【こ】こだわる楽しさエコグッズ【か】感謝の心食べ残しゼロ【つ】つながるオフィステレワーク から始めてみましょう。

7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに



11 住み続けられるまちづくりを



13 気候変動に具体的な対策を

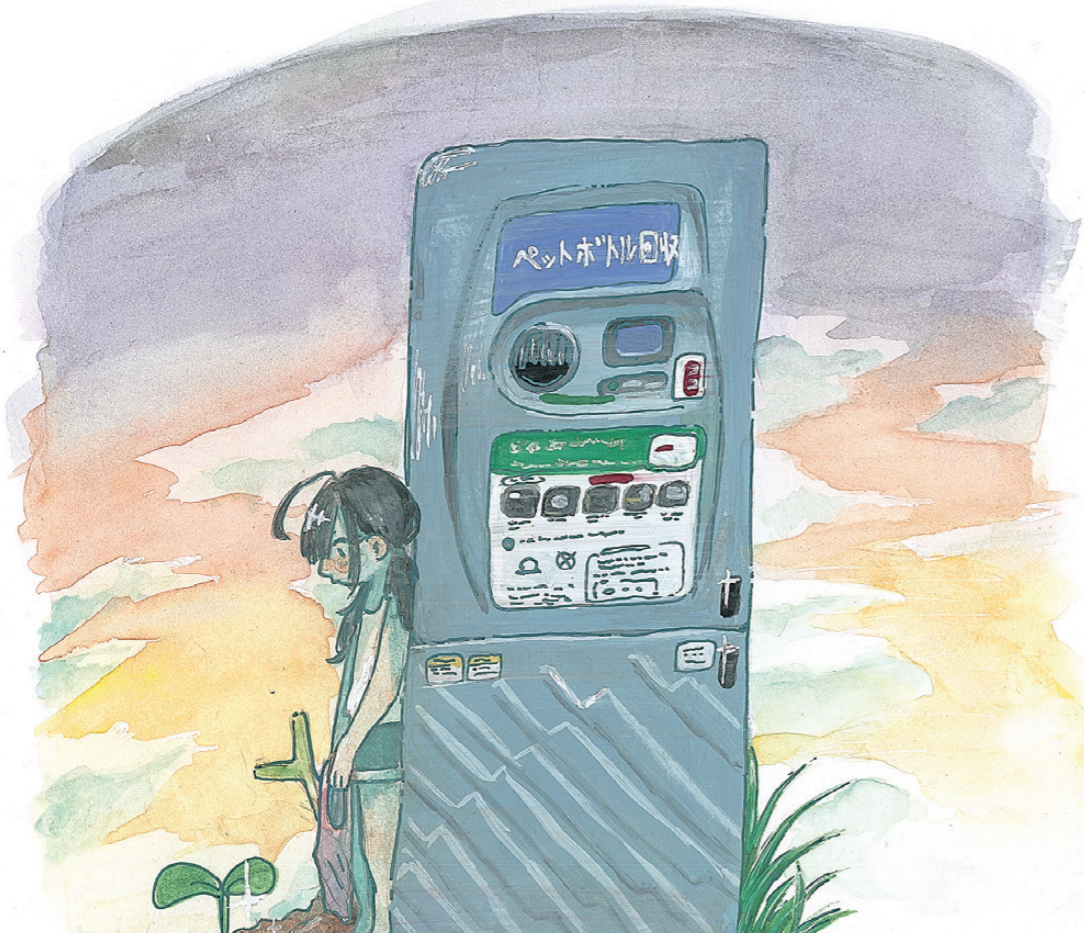


15 陸の豊かさも守ろう



17 パートナリシップで目標を達成しよう





いまの姿

- これまで町民、事業者及び行政が連携して様々なごみの減量やリサイクルに取り組んでいますが、依然として大量生産・大量消費・大量廃棄型の線形経済は変わっていません。町内だけではなく地球規模の環境問題に向き合っていくためには、循環経済への移行を推進し、持続可能な地域と社会づくりなどの取り組みを一層強化する必要があります。
- 「ごみ収集日程表」や「資源とごみの分け方・出し方」などごみの適切な分別方法についての啓発を行っていますが、不適正排出や不法投棄などの通報が多く寄せられています。

8年後の姿

快適な生活環境を維持するため、町民・事業者・行政がそれぞれの役割を認識し、自主的かつ積極的に行動しています。

≡ 成果目標 ≡

町民1人あたりの家庭ごみ排出量

503 g/人/日 → 478 g/人/日

■ 令和6年度

■ 令和15年度

8年間の取り組み

1 資源を大切にし、持続可能なまちをつくります

行政の取り組み

- リユースやリサイクルに取り組みやすいよう事業者と連携した取組を積極的に行います。
- 町民の自主的な行動に結びつきやすいようターゲットを明確にした広報活動に取り組めます。
- プラスチックを資源として分別・回収・処理できるよう構成市（別府市・杵築市）と連携して取り組んでいきます。

みんなで一緒に取り組もう

- ごみを正しく分別しましょう。
- 3R（リデュース・リユース・リサイクル）運動に加え、リニューアブル品の選択、食品ロスの削減などに関心を持ち、ごみの排出抑制や減量化に努めましょう。

2 快適な生活環境を守ります

行政の取り組み

- ごみの不適正排出については指導するとともに、地域特性等を踏まえて問題解決に取り組めます。
- 関係団体と連携し、不法投棄防止のための看板設置やパトロール等により監視体制を強化します。
- 不法焼却（野焼き）の苦情に対して、指導を強化していきます。
- 動物が人の生活環境に悪影響を与えないように、関係機関と連携し、指導等に取り組んでいきます。

みんなで一緒に取り組もう

- 地域の清掃活動などに積極的に参加しましょう。
- 草刈りなどにより所有する土地をきれいに保ち、隣近所に迷惑をかけないようにしましょう。
- 動物は正しい知識と責任を持って飼いましょう。

■関連計画 日出町一般廃棄物（ごみ）処理基本計画（後期計画）

■用語解説 3R … リデュース（発生抑制）、リユース（再使用）、リサイクル（再生利用）
リニューアブル … 再生可能資源への代替を行うこと。（例：バイオマスプラスチックへの転換）



いまの姿

- 本町における障がい者手帳の所持者は、令和2年度以降1,800人前後で推移しており、本町人口に占める割合は、令和7年4月1日現在で6.64%となっています。手帳の種類では、身体障害者手帳所持者は減少しており、療育・精神手帳所持者は増加しています。
- 支援が必要な児童が増加し、個々の児童やその家族の状況やニーズに応じたきめ細かい対応が求められます。
- 今後、障がいのある人の高齢化が進み、親なきあとも障がいがある人が地域で安心して生活していくための対策が求められます。

8年後の姿

障がい者が住み慣れた地域で、自分らしく安心して暮らし、地域社会の一員となっています。

成果目標

一般就労移行者および新規就労継続支援利用者数



8年間の取り組み

1 障がい者とその家族に対する相談支援の充実に取り組みます

行政の取り組み

- 障がい福祉の自立支援・生活支援が多様化する中、障がいに応じたサービスが適切に提供できるように相談支援の充実に取り組みます。
- 障がい児等に対して、地域の保健、障がい福祉、保育、教育等の関係者と連携し、切れ目のない支援体制を構築します。

みんなで一緒に取り組もう

- 不安なことがあったら、行政や専門機関へ相談しましょう。
- 地域のつながりを大切にし、困ったときはお互いに支え合しましょう。

2 一人ひとりにあった就労・社会参加支援の充実に取り組みます

行政の取り組み

- 障がい者本人が就労先や働き方について、より良い選択ができるよう支援します。
- 障がい者の権利を守るため、障がい特性に関する啓発を行います。
- 障がい者就労施設等からの優先調達への取組を推進します。

みんなで一緒に取り組もう

- さまざまな障がいについて理解を深めましょう。
- 障がいのある方が働きやすい職場環境をつくりましょう。

3 住み続けられる地域づくりに取り組みます

行政の取り組み

- 地域生活へ移行するための体験の場の提供や、緊急時の受入体制の整備を行います。
- 日出町自立支援協議会を中心に、地域の関係者全体で地域課題の解決を目指します。
- 「親なきあと」に備え、障がい者のご家族等に対する相談支援を行います。

みんなで一緒に取り組もう

- 障がいの有無にかかわらず、相手の個性や多様性を尊重しましょう。

- 関連計画 日出町障がい福祉計画、日出町障がい児福祉計画、日出町障がい者計画、日出町地域福祉計画
- 用語解説 優先調達 … 国や地方公共団体等が、物品等の調達に当たって、障害者就労施設等から優先的に調達するよう努めること。
自立支援協議会 … 地域関係者が集まり、地域における課題を共有し、その課題を踏まえて、地域のサービス基盤の整備を進めていくこと及び関係機関等の連携の緊密化を図る役割を担っています。



いまの姿

- 日出町の65歳以上の老年人口は増加傾向にある一方、14歳以下の年少人口、15歳～64歳の生産年齢人口はそれぞれ減少傾向にあり、高齢化率は、着実に上昇しています。今後、この傾向はますます顕著になり、人口減少と少子高齢化が進行していくと見込まれています。
- 日出町の高齢化率は大分県内でも低い水準で推移してきたため、高齢者人口のピークは近隣市町村よりも遅く、2045年（令和27年）ごろになると見込まれます。
- 高齢者人口の増加に伴い、高齢者単身世帯や高齢者のみ世帯も増加しています。家族等から日常的に、介護や生活支援を受けることが困難と思われる高齢者が増加しています。

8年後の姿

高齢者が住み慣れた地域でともに支え合い
いつまでも健やかにいきいきと暮らしています。

≡ 成果目標 ≡

75歳以上の高齢者のうち要介護認定を受けていない方の割合



8年間の取り組み

1 地域全体で高齢者支援に取り組みます

行政の取り組み

- 地域貢献や就業等を通して高齢者が社会参加できる機会を充実させます。
- 高齢者が地域づくりの担い手として活躍できるよう支援します。
- 高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らすため、在宅医療・介護連携の推進や、地域や関係機関による生活支援体制の充実に取り組みます。

みんなで一緒に取り組もう

- 住民同士で声を掛け合って高齢者を支え合いましょう。
- 年齢を気にせず積極的に地域の活動に参加しましょう。

2 健康と長寿を両立する取り組みを推進します

行政の取り組み

- 介護予防を推進する人材を育成するとともに、介護予防活動を行う団体を支援します。
- 健康講話などを通じて、介護予防や健康づくりに対する町民意識の醸成に取り組みます。
- 介護予防の現場に、リハビリテーション専門職等が支援に入る機会を増やします。

みんなで一緒に取り組もう

- 通いの場（高齢者サロン）に積極的に参加し、体操や交流などを楽しみましょう。

3 介護保険事業の円滑な運営に取り組みます

行政の取り組み

- 持続可能な介護保険制度として運営していくために、介護給付等の適正化に取り組みます。
- 事業者への支援として、介護人材の育成・確保やインターネット等を活用した介護現場の負担軽減に取り組みます。
- 利用者への支援として、相談・苦情受付体制の充実や、低所得者の負担軽減などに取り組みます。

みんなで一緒に取り組もう

- 必要な時に必要なサービスを正しく利用していきましょう。

■関連計画 介護保険事業計画
 ■用語解説 在宅医療 … 病院や自治体と連携しながら自宅での治療を目的とした医療体系。
 75歳以上の高齢者 … 定年後も就業されている方が増えてきているなどの現状を鑑みて、介護予防、高齢者支援の重点対象を75歳以上に設定しています。





いまの姿

- 出生数は、平成29年以降200人台で推移していましたが、令和4年に163人に減少しています。その後、令和5年は213人と増加しましたが、令和6年は178人となり減少に転じています。
- 子育て世帯の母親のフルタイムでの就労傾向が高まっており、小学校就学後の放課後の過ごし方は、「放課後児童クラブ」の利用意向が高くなっています。育児休業を取得した父親の割合は令和6年の調査では14%となっており、低い状況です。
- こどもの貧困について社会的関心が高まっており、特にひとり親家庭では、経済的な面だけでなく、教育の支援、生活の安定に資するための支援、保護者の就労支援を進めることが必要です。

8年後の姿

「子育てをするならやっぱり日出町」と認知され、まちに住民が続く子育て世帯が増えています。

≡ 成果目標 ≡

0～15歳の住民数



8年間の取り組み

1 子育て世帯が住み続けたい環境を整備します

行政の取り組み

- 医療費助成や給食費・保育料の無償化など、子育て世帯の経済的負担の軽減に取り組めます。
- 事業所に対するワークライフバランスの啓発等、社会全体で子育て世帯を支える雇用環境を整備します。
- 子育て世帯の移住・定住を促すため、子育て支援及び教育環境の充実に取り組めます。

みんなで一緒に取り組もう

- SNS等で日出町の住みやすさを発信しましょう。
- 地域の子育てイベントに参加しましょう。

2 妊娠期から学齢期まで切れ目のない支援に取り組めます

行政の取り組み

- 子育てで困ったときにいつでも相談できる窓口を整備します。
- 多様化する相談について、関係機関と連携し、解決に向け支援します。
- デジタル・ICTを活用し、安心して子育てできる環境を整備します。

みんなで一緒に取り組もう

- 子育てで悩んだ時はいつでも相談しましょう。
- 必要な支援サービスを積極的に利用しましょう。

3 すべてのこどもが安心して過ごせる居場所づくりに取り組めます

行政の取り組み

- 放課後・長期休暇中のこどもの居場所についてニーズを調査し、整備に取り組めます。
- 子育て支援センター・放課後子ども教室などについても、さらに利用しやすい環境を整えます。

みんなで一緒に取り組もう

- こどもが安心して過ごせる居場所づくりを一緒に考えましょう。
- 安心して過ごせるこどもの「居場所」を地域に広げていきましょう。

■ 関連計画 日出町子ども・子育て支援事業計画、日出町教育振興計画、日出町男女共同参画基本計画
 ■ 用語解説



いまの姿

- 食生活や運動等の生活習慣の変化により、生活習慣病の有病率は増加傾向にあり、がん・心疾患・脳血管疾患などの生活習慣病に関連した死亡が44.8%を占めています。
- 健康づくりは、個人の取組と健康を支援する環境づくりが重要ですが、コロナ禍以降に人とのつながりが希薄化するなど、健康づくりを継続するための環境整備と健康格差が大きな課題となっています。
- 平均寿命とお達者年齢の差からみた日常生活動作が自立していない期間については、男性は1.43年、女性は2.82年ですが、今後高齢化率が上がることに伴い、自立していない期間が長くなることが予想されます。

8年後の姿

健康づくりに取り組みやすい環境が整備され、健康に関心を持つ人が増え、町民が主体的に健康づくりに取り組んでいます。

≡ 成果目標 ≡

健康寿命（お達者年齢）

男性 80.72 歳 → 81.75 歳
 ■ 令和6年度 ■ 令和15年度

女性 84.40 歳 → 85.12 歳
 ■ 令和6年度 ■ 令和15年度

8年間の取り組み

1 疾病予防に取り組みます

行政の取り組み

- 生活習慣病の予防のために、自身の健康を把握したり生活習慣の改善を自主的に行えるよう支援します。
- 健康づくりが自然とできるような環境整備を推進します。
- 感染症予防について、普及啓発や相談体制の充実に取り組みます。

みんなで一緒に取り組もう

- 健康診査やがん検診は毎年必ず受診しましょう。
- 健康教室等へ積極的に参加しましょう。
- 正しい感染症予防対策を知り、日ごろから実行しましょう。

2 地域に根差した健康づくりに取り組みます

行政の取り組み

- 健康づくり推進員の活動が認知され、地域ぐるみで健康づくりの輪が広がるよう支援します。
- 食生活改善推進員や健康運動普及推進員の養成と共に、食育の推進、運動の定着などの活動について支援します。
- 地域で開催される高齢者等のサロンや、各種団体や事業所等への健康教育を通して健康づくりを支援します。

みんなで一緒に取り組もう

- 健康づくりのイベントに積極的に参加しましょう。
- 仲間づくりも兼ねて、健康づくりに関するボランティア活動に参加しましょう。
- 共食や健康につながる食事を積極的に取り入れましょう。

3 関係機関とのネットワークの構築を図ります

行政の取り組み

- 医療機関や事業所等、他の関係団体と連携を図りながら健康課題に取り組みます。
- 健康に寄与する食の提供等の食環境づくりを関係者と一緒に取り組みます。
- 自殺予防について、様々な分野での施策に取り組むとともに、町民や組織が連携を密に対策を講じます。

みんなで一緒に取り組もう

- 職場や地域で呼びかけ合い、健診受診や運動の機会をつくりましょう。
- 食に関する適切な情報を活用しましょう。
- 身近な人の悩みに耳を傾けて、必要な時には相談機関につなげましょう。

■ 関連計画 日出町いきいき健康プラン
 ■ 用語解説 お達者年齢 … 大分県が独自で設定している補完指標で、「日常生活動作が自立している期間の平均」をいい、介護保険の要介護度2未満を健康とすると定義しています。人口規模が小さく単年度では精度が低くなるため、5年間の平均値を使用しています。R6年度はH30～R4の平均値です。
 フレイル … 加齢とともに、体や心のはたらき、社会的なつながりが弱くなった、健康と要介護の間の虚弱な状態のことです。



いまの姿

- 市内の幹線道路の改良や生活道路の拡幅及び舗装の更新等を、計画的に進めています。
- 町道利用者の安全確保のため、カーブミラーやガードレール等の交通安全施設の整備を進めています。
- 公園は町民の憩いの場として整備しており、観光資源としても活用されています。さらに、災害時の避難場所としても利用できるよう整備を進めています。

8年後の姿

道路・公園等インフラの整備を進めることで、
住宅地が増え、企業の進出が進み、地域が活性化しています。

≡ 成果目標 ≡

道路改良率



8年間の取り組み

1 道路・公園インフラの整備を推進します

行政の取り組み

- 市内の各路線において関係機関と連携した道路整備を行ない、交通の円滑化に取り組みます。
- ユニバーサルデザインなどの視点を取り入れたり、災害時の緊急道路・輸送路としての利用を想定した道路整備を進めていきます。
- 公園の整備等で民間の資金やアイデアを活用し、持続可能な施設整備を目指します。
- 公園を避難所として利用できるように整備し、災害時の緊急対応体制を整えます。

みんなで一緒に取り組もう

- 道路の危険箇所を見つけたら、役場に知らせましょう。
- 道路沿いの土地はきれいに管理しておきましょう。
- 公園はきれいに正しく使いましょう。

2 維持管理の適正化に取り組みます

行政の取り組み

- インフラの長寿命化計画を策定し、優先順位に基づき適正に維持管理を進めます。
- 法令等に基づく定期点検を行ない、各施設のデータを維持管理に反映させます。
- 計画的に維持管理を進めることで、安全を確保しながらコスト削減を図ります。

みんなで一緒に取り組もう

- 町民、民間、行政の役割を意識しながら、まちのインフラを協働して守っていきましょう。

3 都市計画に基づいた都市機能の充実に取り組みます

行政の取り組み

- 立地適正化計画に基づき、様々な関係機関と連携して、コンパクトなまちづくりに取り組みます。
- インフラや公営住宅についても、長寿命化計画に基づき適正に維持管理等を進めます。
- SNS等で情報発信しながら、自然と人の営みが調和した景観づくりを推進します。

みんなで一緒に取り組もう

- まちづくりに関するアンケートなどには積極的に応えましょう。

■ 関連計画 日出町都市計画マスタープラン

■ 用語解説 ユニバーサルデザイン（UD） … 年齢、性別、国籍、障がいの有無などに関わらず、誰もが利用しやすいように、はじめてから設計・デザインする考え方



いまの姿

- 近年、全国各地で台風や大雨による風水害・土砂災害が頻発化しています。また、最大震度7と予測される南海トラフ地震の発生確率も高まる中、甚大な被害をもたらす大規模自然災害に対応できるまちづくりが求められています。
- 杵築速見消防組合と日出町消防団を中心に、消火・火災予防活動に取り組んでいますが、消防施設の老朽化や消防団員の減少・高齢化等による地域消防力の低下が懸念されます。
- 多様化・巧妙化する犯罪、悪質商法による消費者トラブル、交通事故等について、地域、杵築日出警察署及び関係団体と連携し、各種啓発や見守り活動等の取り組みを行っています。

8年後の姿

災害・火事・犯罪・交通事故等への対策が進み、町民が安心して生活を送っています。

≡ 成果目標 ≡

安心・安全なまちに対する町民満足度



8年間の取り組み

1 「自助・共助・公助」により防災・減災の取り組みを進めます

行政の取り組み

- 避難所環境の改善や備蓄物資の充実等、被災者へのきめ細やかな対応に取り組みます。
- 情報伝達や災害時要配慮者への支援等、逃げ遅れによる被害者ゼロに取り組みます。
- 地区防災計画の策定等、自助・共助による防災力向上に資する活動の支援に取り組みます。

みんなで一緒に取り組もう

- 防災備蓄品の整備や家族で避難行動を確認する等、「自助」による防災力を高めましょう。
- 地区防災計画の策定や避難訓練の実施等、地域で「共助」による防災力を高めましょう。

2 消防・救急体制の充実に取り組みます

行政の取り組み

- 消防・救急業務を担う杵築速見消防組合の管理運営を杵築市と連携して進めます。
- 消防団や地域での火災予防活動等により、「無火災のまちづくり」を進めます。
- 消防団の車両や装備品の充実を図るとともに消防団員の技能向上と人員確保に取り組みます。

みんなで一緒に取り組もう

- 地域で火災予防活動や消火訓練を行いましょう。
- 消防団への理解と協力を深めましょう。
- 消防団員に関心のある人は役場に相談しましょう。

3 犯罪・交通事故の抑制とその被害者支援に取り組みます

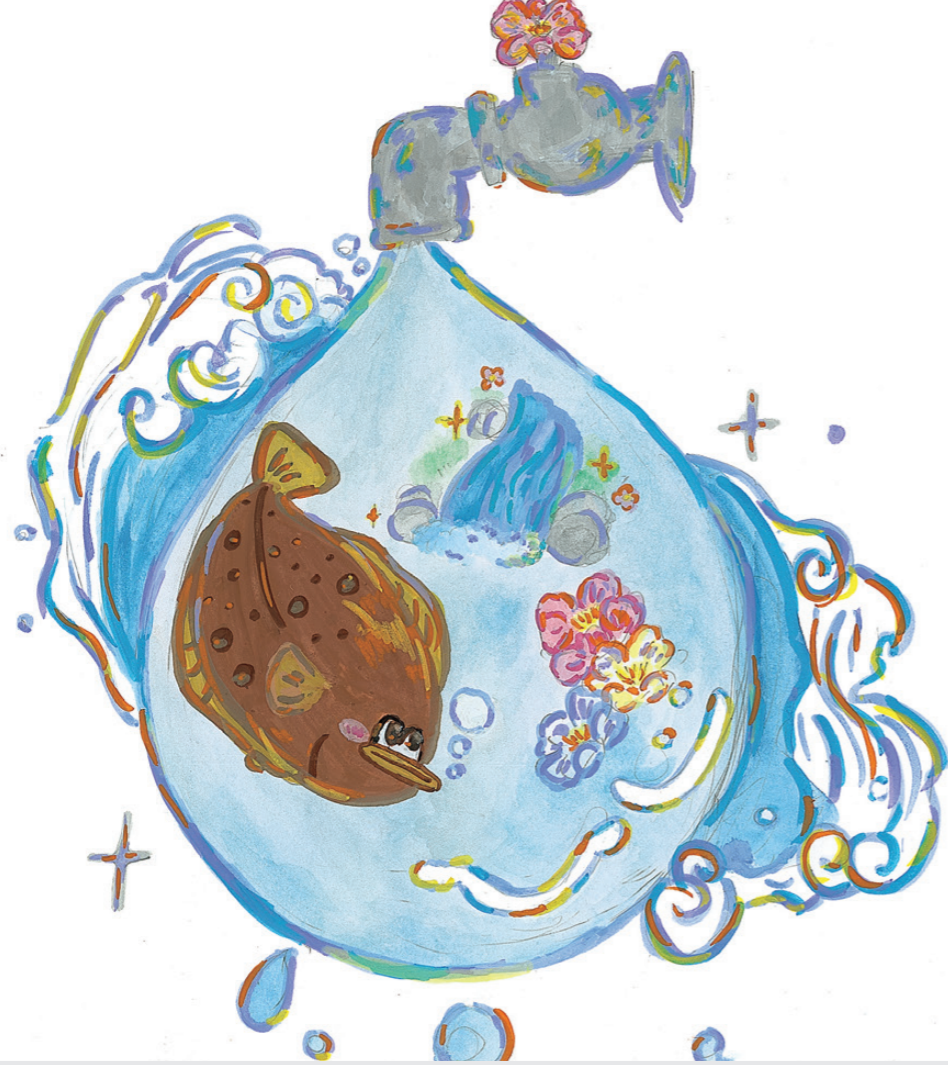
行政の取り組み

- 警察や関係機関と連携した広報啓発活動により防犯・交通安全意識の高揚に取り組むとともに、地域で活動する団体の支援を行います。
- 犯罪、交通事故や消費者トラブルに関する相談窓口と事件・事故の被害者への支援の充実に取り組みます。

みんなで一緒に取り組もう

- 日頃から防犯情報に注意し、被害に遭わないよう、防犯意識を高めましょう。
- 交通事故に「遭わない、起こさない」を目標に交通ルールを守りましょう。
- 被害に遭っても一人で悩まず、相談しましょう。

■関連計画 日出町国土強靱化地域計画、日出町地域防災計画、日出町交通安全計画
■用語解説



いまの姿

- 水道水を湧水と深井戸水のための自然の水で賄っています。
- 配水能力に問題はありませんが、管路を含めた送配水施設の経年化・老朽化が進んでいます。
- 地震等の災害対策の重要性が高まる中、水道施設の効率的かつ速やかな更新・耐震化が必要となっています。

8年後の姿

水道施設が計画的に更新され、安くて美味しい水道水が安定して供給されています。

≡ 成果目標 ≡

上水道有収率

81.3% → 85.0%

■ 平成27～令和6年度平均

■ 令和15年度

8年間の取り組み

1 いつでも安全で良質な水道水を供給します

行政の取り組み

- 水源地や水道施設を常に監視し、水道水の供給が止まらないよう取り組みます。
- 法定の検査項目以外にも必要とされる水質検査は迅速に実施し、安全な水道水を供給します。
- 老朽化した水道施設の計画的な更新に取り組みます。

みんなで一緒に取り組みよう

- 節水を心がけましょう。
- 水道水に異変を感じたら、すぐに役場に連絡しましょう。

2 安定した水道事業を行うため経営改善に取り組みます

行政の取り組み

- 計画的な水道管の改修・修繕を行い有収率の向上に取り組みます。
- 水道事業経営戦略を随時見直し、健全で持続可能な経営を推進します。

みんなで一緒に取り組みよう

- 道路からの水漏れに気づいた時は、すぐに役場に連絡しましょう。
- 水道料金は納期内に納めましょう。



■ 関連計画 日出町水道事業経営戦略、日出町水道施設アセットマネジメント計画

■ 用語解説 上水道有収率 … 浄水場から送り出した水の量のうち料金として収入になった水量の割合。この割合が高いほど、漏水を抑え無駄なく水道水が供給されていることを示します。





いまの姿

- 下水道事業が始まり39年が経過し、施設の老朽化に伴う改修等の維持管理費用が増大することが課題となっています。
- 新規整備のための財源の不足や人口減少に伴い、整備対象区域の見直しが課題となっています。
- 多角的な経営分析を行い、現実的かつ戦略的な下水道事業の運営が必要となっています。

8年後の姿

生活排水が下水道や合併処理浄化槽によって適正に処理され、美しい海や川が保たれています。

≡ 成果目標 ≡

生活排水処理率



8年間の取り組み

1 生活排水処理施設の整備に取り組みます

行政の取り組み

- 効果的・効率的な下水道整備を進め、環境保全を推進します。
- 老朽化した施設の更新、耐震化を進めます。
- 下水道区域外では、合併処理浄化槽設置の促進に取り組みます。

みんなで一緒に取り組もう

- 下水道への接続または合併処理浄化槽を設置しましょう。
- 生活排水を流す時は、ルールを守って正しく流しましょう。

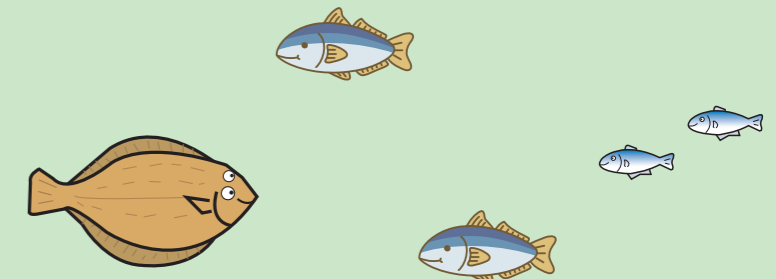
2 健全な下水道事業を行うため経営改善に取り組みます

行政の取り組み

- 下水道経営戦略を随時見直し、健全な経営を推進します。
- 広域化や民間活力の導入を検討し、持続可能な運営に取り組みます。
- 生活排水処理の必要性をPRし、下水道接続率や生活排水水洗化率などの向上に取り組みます。

みんなで一緒に取り組もう

- 下水道等の仕組みや必要性を理解しましょう。
- 下水道使用料等は納期内に納めましょう。



- 関連計画 日出町下水道経営戦略、日出町公共下水道ストックマネジメント計画
- 用語解説 生活排水処理率 … 生活から出る排水が、下水道、浄化槽などの施設で適正に処理されている人口の割合。この割合が高いほど川や海などの水質が改善し衛生的な生活環境が維持されます。